

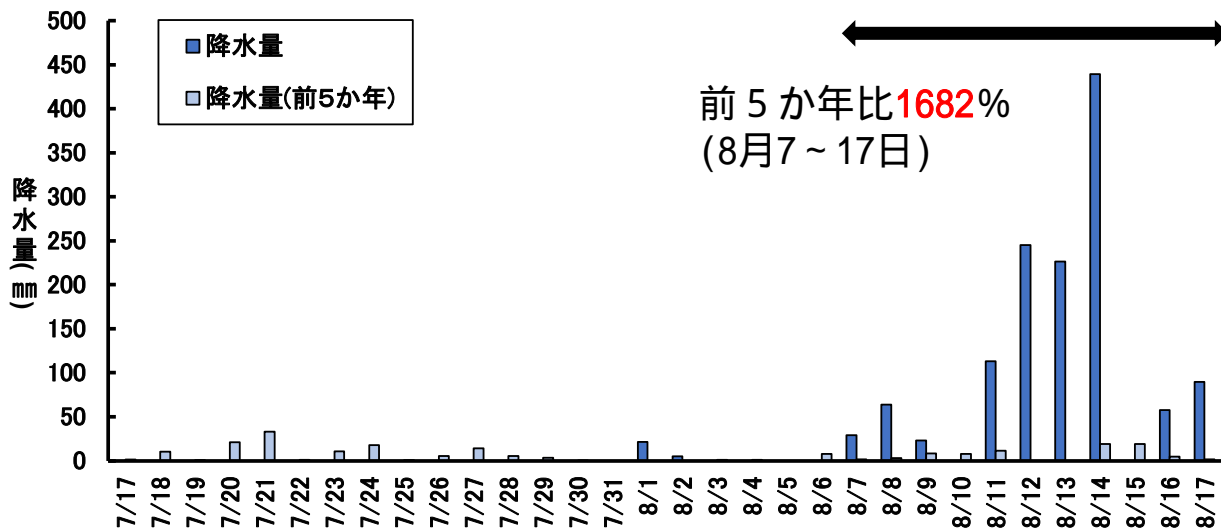
令和3年 お茶づくり技術情報 (No.7)

2021年8月20日
佐賀県茶業技術協会
佐賀県茶業試験場

1. 長雨・日照不足対策

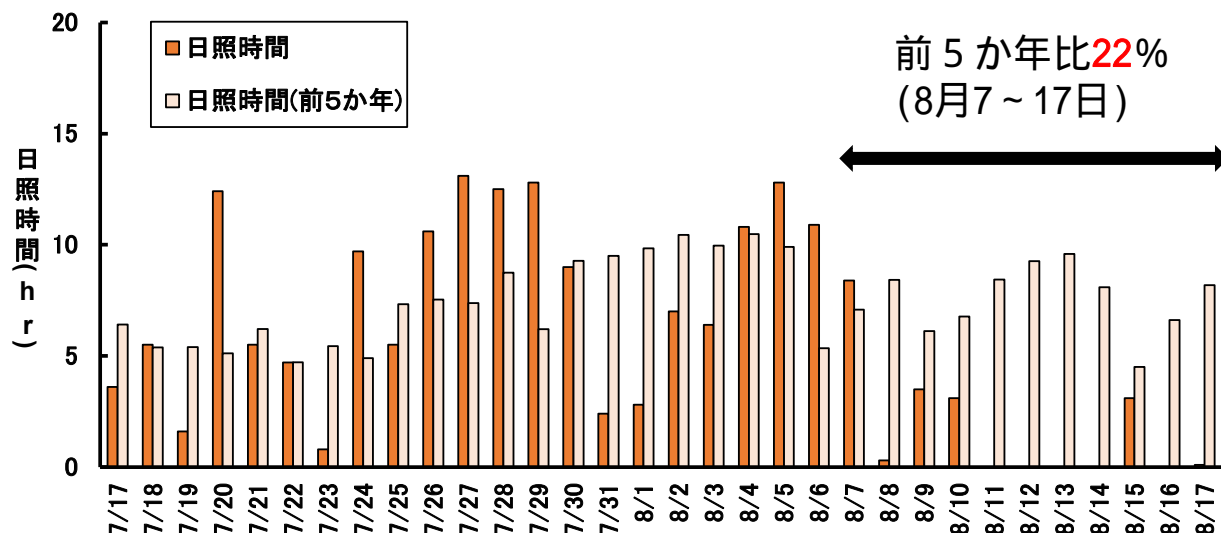
1) 気象の経過

■ 降水量の推移



(1) 7月中下旬はほとんど降雨がなく、高温干ばつ傾向であったが、8月に入り降雨が続いた。特に8月7日以降、断続的に降雨が続き、8月7～17日の降水量は1287mm（前5か年比1682%）と、年間降水量の約半分が10日間で降ったことになる。

■ 日照時間の推移



(1) 7月中下旬は、降雨がなかったことから前5か年平均と比べて多かった。8月に入り、断続的に降雨が続いたことにより、8月7～17日の日照時間は前5か年比22%と大幅に少なくなっている。

2) 豪雨による茶園の被害対策

- (1) 今後の雨で、新たに被害箇所が出る可能性があるため、茶園・取付け道路における亀裂、法面の崩れ、石垣の膨れ等の見回りを行い、発見した場合には、JA・普及センター・市町へ連絡する。
- (2) 滞水・冠水部分の排水処理と排水溝や側溝の改修を行う。
- (3) 法面で表土が崩れているところは、崩れ止めのために土嚢やビニールシート等を用いで覆い、溝切して水筋の分散などの応急処置を行う。
- (4) 表土流出で露出している根には、土寄せを行う。
- (5) 風雨による倒伏や地際部に損傷（根回し）を受けた幼木園では、できるだけ早く株元への土寄せや保護を行い、また、マルチ等の修復を行う。
- (6) 強風を伴う豪雨の影響により病害の発生が懸念されるため殺菌剤を散布する（病虫害対策の項を参照）。
- (7) 防霜ファンの傾きが確認された場合は、防霜対策シーズンまでに確実に修復しておく。



※被害箇所の処置を行う場合は単独行動を控え、安全第一で危険を感じる場合には無理をしない。圃場面の亀裂や石垣のハラミが認められる場合は二次災害の可能性があるので要注意！！

3) 病虫害防除

病虫害防除については、『令和3年度佐賀県施肥・病虫害防除・雑草防除のてびき』を参照してください。

URL : <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00321964/index.html>



4) 樹勢回復対策

- (1) 樹勢低下園で今後摘採予定がない園については、葉面散布を行うことにより、樹勢回復を図ることができる。
- (2) 散布するにあたっては、濃度障害を避けるため、散布濃度（尿素の場合、300倍程度に希釈し、200～400L/10aを目安に散布）に注意し、日中の高温時の散布は避ける。